

2013年5月 NO. 241

TOPICS

「これもインターナルコミュニケーション?」 (公社)日本パブリックリレーションズ協会 副理事長 山田 悦朗 MESSAGE P3

「第2回通常総会 開催のご案内とお願い」

ATTENTION P4

「定例研究会 聴講申し込み方法の変更についてのお知らせ」 ATTENTION P5

「広報PRアカデミー2013 「広報・PRプロジェクト事例セミナー」聴講受付中」 ATTENTION P6

「広報PRアカデミー2013 「PRプランナー3 次試験対応講座」を開講」

ATTENTION P7

「第 13 回PRプランナー資格認定検定試験 1 次試験受験予約申込は 6 月 3 日(月)から!」 ATTENTION P8

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6 丁目 2番31号 六本木ヒルズノースタワー5F 電話(03)5413-6760 ファックス(03)5413-2147

URL http://www.prsj.or.jp/

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島 2-1-27 桜橋千代田ビル 3F 電話(06)6344-3002 ファックス(06)6344-3005

発行人:森 健

5月号 目淡

5月・6月のスケジュール			1
MESSAGE(メッセージ)	「これもインターナルコミュニケーション?」		3
ATTENTION(お知らせ)	「第2回通常総会開催のご案内とお願い」		4
<i>''</i>	「定例研究会聴講申し込み方法変更についてのお知らせ」		5
<i>''</i>	「広報PRアカデミー2013 「広報・PRプロジェクト事例セミナー」聴講受付中」		6
<i>''</i>	「広報PRアカデミー2013「PRプランナー3次試験対応講座」を開講」		7
<i>''</i>	「第13回PRプランナー資格認定検定試験 1次試験受験予約申込は6月3日から!」		8
BULLET/M(活動報告)	「広報PRアカデミー2013 今年も「広報・PR基礎講座」を開講」		9
<i>''</i>	「PRプランナー資格認定制度 116名の2012年度後期PRプランナー誕生」		10
<i>''</i>	「特別国際セミナー開催報告 日産本社「グローバル・メディア・センター」訪問」		12
VOICE of PR Planner	「広告側の一PRプランナーとして。」		13
REPOR T(講演レポート)	「第146回定例研究会開催報告」		14
PR TREND(PRトレンド(関西)	「関西の風:スパイスの効いたサービスを」		15
PLAZA(会員便り)	「ワイワイカンパニー㈱ 山田百合子氏から「NPO法人夢のかけ橋プロジェクト」のご案内」		16
<i>''</i>	「山見インテグレーター㈱ 山見博康氏が「危機対応広報完全マニュアル」を発刊		18
協会掲載記事	「PRSJ in Media 4月」		19

5月~6月スケジュール

第12回PRプランナー資格認定 日 時 : 5月19日(日) 10:20~15:35

検定 2 次試験 会場 : 学習院大学(東京)

天満研修センター(大阪) 福岡建設会館(福岡)

異文化交流会 日 時 : 5月21日(火) 16:00~18:00

会 場 : 駐日欧州連合(EU)代表部 訪問

広報 PR アカデミー2013 日 時 : 5月 22 日(水) 19:00~21:00 「**広報・PR プロジェクト** 会 場 : AP 浜松町(芝パークビル B1F)

事例セミナー」

第 148 回定例研究会 日 時 : 5 月 28 日(火) 12:00~14:00

会場: 日本外国特派員協会(FCCJ)

講師 : 日本経済新聞社 編集局 産業部長 藤賀三雄氏

第 26 回PRスキル研究会 日 時 : 5月 28日(火) 17:30~19:00

(PR業部会) 会場: 麻布研修センター霞会館 大会議室

講師 : ㈱電通パブリックリレーションズコミュニケーションデザイン局

デジタルコミュニケーション室 シニアコンサルタント 細川一成氏

テーマ : 「インターネット時代のPR(仮)」

第8回PRプランナー交流会 日 時 : 6月12日(水) 19:00~21:00

会場: (株)アサツー ディ・ケイ 11F ラウンジ

広報 PR アカデミー2013 日 時 : 6月13日(木)、19日(水)、26日(水)

「PRプランナー3 次試験対応講座」

7月3日(水)、10日(水)、17日(水)

いずれも 19:00~21:00

会場: 六本木アカデミーヒルズ 49

特別国際セミナー 日 時 : 6月21日(金) 12:00~13:30

会場: ブルームバーグ 訪問

予告

通常総会開催

日 時: 2013年5月30日(木)

通常総会 17:00~/ 懇親パーティ 18:30~

会 場 : 六本木アカデミーヒルズ 49

通常総会 「スカイスタジオ」 懇親パーティ 「タワーホール」

5月の理事会・委員会・部会スケジュール

定例理事会(5月度) 日 時 : 5月 7日(火) 12:00~14:00

場 所 : 六本木ヒルズクラブ

幹部会(経営会議) (5月度) 日 時 : 5月 7日(火) 10:30~11:45

場 所 : 協会会議室

教育委員会(5月度) 日 時 : 5月 9日(水) 16:00~18:00

場 所 : 協会会議室

資格委員会(5月度) 日 時 : 5月23日(木) 17:00~18:30

場 所 : 協会会議室

交流委員会(5月度) 日 時 : 5月16日(木) 12:00~14:00

場 所 : 協会会議室

広報委員会

PR小委員会(5月度) 日 時 : 5月15日(水) 14:00~16:00

場 所 : 協会会議室

出版小委員会(5月度) 日 時 : 5月15日(水) 16:00~18:00

場 所 : 協会会議室

顕彰小委員会(5月度) 日 時 : 5月15日(水) 12:00~14:00

場 所 : 協会会議室

企業部会幹事会(5月度) 日 時 : 5月13日(月) 17:00~18:00

場 所 : 協会会議室

PR業部会幹事会(5月度) 日 時 : 5月14日(火) 16:00~18:00

場 所 : 協会会議室



これもインターナルコミュニケーション?

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会 副理事長 山田 悦朗

先日、企業部会の勉強会「広報ゼミ」で、インターナルコミュニケーションをテーマに、各社 課題や悩みを共有し、議論した。一番多かったのは海外グループ会社までふくめての社内コミュニケーション。グループ内に会社方針やトップメッセージをタイムリーに届け、社員の意識を変えていく、という社内コミュニケーションの使命がなかなか果たせないというものだ。

さて今回は海外まで出ていかなくとも、身近なところで、これも大事なインターナルコミュニケーション、という話をひとつ。

私は今の会社で、事務部門担当の役員を仰せつかっており、今の時期、人事教育の仕事として、新人の導入教育と並行して来年度の新卒採用にも駆り出されている。新人教育では、富士通グループのビジョンやら経営方針やらDNAやらを刷り込んでいくというのは大事な仕事の一つだ。しかし、つい2週間前まで学生だった人たちをつかまえて、うちの会社の理念はやれ「常に変革に挑戦し、快適で安全なネットワーク社会づくりに貢献する」、とか「チャレンジ精神だ」「ともかくやってみろ」だのと、会社の歴史や先人、歴代社長の語録を並べても、いまいちピンこないらしい。(これは教育期間中毎日書いてもらっている日誌を見て、芳しい反応がないことからわかる。なんだか記者相手に一生懸命自社製品の良さをアピールしたのに肩すかしを食った時の感じに似ている。)

幸い富士通は、昔大型コンピュータを作っていた沼津工場内に、富士通DNA館と富士通アーカイブズという施設をもっている。そこではコンピュータ開発に携わった人たちの挑戦の歴史や、リレーという素子を使った 50 年前のコンピュータがガタガタと動くのを目の当たりにすることができる。DNA館には、OBの方々のボランティア活動により、歴代のコンピュータ本体のほかに、テープ装置や磁気ディスク装置の現物、会社創立当時作っていた黒電話機、その後富士通信機製造時代の通信機器など、会社のその時その時のチャレンジの産物が展示してある。また富士通アーカイブズには、ブツというより、会社設立の定款をはじめとする歴史的な書類や契約書、取締役会議事録、会社組織表などが保存されている(創刊からの社内報も供出してある)。これらの現物を見ることによって、それこそ百聞は一見にしかずのとおり、会社のDNAが理解できるという次第(見学会後の日誌には、感動した!的な表現があふれる)で、これは強力なコミュニケーションツールとなっている。

今日も採用で何人かの学生の面接をした。景気回復の予感の中で昨年度ほど厳しくはないのかもしれないが、みな学生達は真剣でそれなりの事前練習をしてくる。志望動機を聞くと「御社は、ネットワークで社会を支え、しかも設計の上流工程から工事まで一貫したソリューションを提供できる会社だから」と、会社説明会で採用担当者や先輩社員が唱えている会社のアイデンティティをさらっとひとことで言ってくれると、うん、ちゃんと伝わっている、聞いていてくれた、とそれはそれで嬉しいのだが、その後の質疑応答で、中身の理解が?ということもしばしば。携帯電話基地局鉄塔の下あたりで説明会でも開かないといけないのかもしれない。



【重要】

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会 「第2回通常総会」開催のご案内とお願い

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会 第2回通常総会を5月30日(木) 六本木アカデミーヒルズ49「スカイスタジオ」で開催いたします。

今回の総会議事は、第1号議案「平成24年度事業報告の件」、第2号議案「平成24年度収支決算報告並びに監査報告の件」の2つの決議事項と2つの報告事項「平成25年度事業計画の件」及び「平成25年度収支予算の件」からなっております。

5月13日(月)(予定)に、法人正会員、個人正会員A及びBの皆様には「通常総会招集通知」 をお送りいたしますので、ご確認いただき、ご出席いただける正会員の皆様は、当日会場の受付 におきまして、ご返信いただいた出欠届を基に作成いたしました名簿と照らし合わせますので、 必ず出欠届の事前ご送付をお願いいたします。

また、当日ご出席願えない場合は、同封いたしました議決権行使書にご記入の上、**平成25年 5月29日(水)(必着)** までに議決権を行使してくださいますようお願い申し上げます。

「通常総会招集通知」及び「議決権行使書」は平成24年度の正会員(平成25年3月31日まで会員の方々)にお送りいたします。これは「総会運営規則」第4条(議決権行使に関する基準日)「事業年度(平成24年度)の末日現在における正会員を議決権を有する正会員とする」によります。既に3月31日で退会届を提出されている皆様にもお送りいたしますので、<u>出欠のご連絡並び</u>にご出席願えない場合は議決権行使書をお送りくださいますようお願い申し上げます。

通常総会終了後、懇親パーティが開催されます。

懇親パーティには法人正会員及び個人正会員 $A \cdot B$ の会員はもとより、法人登録会員・個人賛助会員・特別会員の皆様もご参加いただけますので、お送りいたしましたご招待状にご記入の上、メールまたはFAXでご返信いただければ幸いに存じます。

多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日 時: 平成25年5月30日(木)

通常総会 17:00~ / 懇親パーティ 18:30~

場 所: 六本木アカデミーヒルズ 49

「スカイスタジオ」(通常総会) /「タワーホール」(懇親パーティ)

※ご不明な点がございましたら、

協会事務局 担当:縮(TEL:03-5413-6760)までお問合せください。

●「定例研究会」聴講申し込み方法の変更についてのお知らせ●

2013年7月5日開催の「第149回定例研究会」より聴講の申込み方法はWebのみとなります

協会ニュース 3 月号、4 月号でもお知らせいたしましたが、かねて事務局では 事務の効率化と会員サービスの向上のため、業務電子化の取り組みを進め てまいりました。

その一環として、現在、Webと返信メールにて受付けております定例研究会の聴講申込みについて、7月開催の「第149回定例研究会」よりWebによる申込みに一本化させていただきます。

皆さまには事情ご賢察の上、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

事務局

広報PRアカデミー2013

「広報・PRプロジェクト事例セミナー」聴講受付中 5月22日に「AP浜松町」にて開催

教育委員会・広報委員会

先月号でもお知らせしましたが、来る 5 月 22 日 (水) 午後 7 時より「PRアワードグランプリ 2012」受賞プロジェクトを一堂に公開する「広報・PRプロジェクト事例セミナー 2013~『PRアワードグランプリ 2012』に学ぶ」を東京・港区の「AP浜松町」を会場として開催いたします。



2000 年より毎年開催されている「PRアワードグランプリ」は、企業・団体やPR会社、

公共団体などが実施した広報・PRのプロジェクト事例を審査し、優秀事例を顕彰する制度です。 受賞プロジェクトは優れた広報・PR活動の実例として業界内外から関心を集め、広報・PR関係者は実務に関する貴重な参考事例として活用することができます。

現在、本セミナーの聴講を協会 Web サイト「広報 PR アカデミー セミナー/イベントページ」で、5月17日まで受付けています。聴講費は、当協会会員及び PR プランナー資格取得者は 3,150円、一般は 5,250円です(いずれも消費税込)。

聴講ご希望の方は、お早めにお申し込みください。

広報PRアカデミーURL http://event.prsj.or.jp/

■「広報・PRプロジェクト事例セミナー2013」プログラム

時間	内 容	プレゼンター
19:00 ~ 19:05	ご挨拶/PR アワードグランプリについて	日本PR協会
19:05 ~ 19:30	[コーポレート・コミュニケーション部門最優秀賞] 『「元気な大阪」体験取材プログラムで 5 つのWIN OSAKA発見隊』	㈱博報堂関西支社
19:30 ~ 19:55	[マーケティング・コミュニケーション部門最優秀賞] 『森永製菓「森永甘酒」のための甘酒市場活性化を目的と したPR活動』	(株)電通
19:55 ~ 20:05	休憩	
20:05 ~ 20:30	[ソーシャル・コミュニケーション部門最優秀賞] 『熱中症や感染症による「脱水状態」に対する正しい知識の 認知向上 教えて!「かくれ脱水」委員会』	ブルーカレント・ ジャパン(株)
20:30 ~ 20:55	[グランプリ] 『もっとクロス!計画~日本赤十字社PRカ強化プロジェクト~』	(株電通パブリックリレー ションズ

広報PRアカデミー2013

第 11 回試験を終えすでに 1,400 人以上の認定者が社会に羽ばたく PRプランナー。今年度も多くの方々が <math>PRプランナーの資格取得に向けて、最難関の 3 次試験にチャレンジします。協会では 7 月下旬実施の第 12 回 3 次試験受験者を主な対象とする「<math>PRプランナー3 次試験対応講座」を、今年も 6 月 13 日 (木) より 6 週にわたって六本木アカデミーヒルズにて開講します。



本講座では、PRプランナー認定3次試験の内容となるニュースリリースの作成やマーケティングおよびコーポレート分野における広報・PR計画の立案法の3分野について、6回の講義と実習を通じて集中的に習得します。3分野それぞれを2週にわたる講義と演習を通して履修し、合格可能な実力を養成します。毎回、資格取得を希望する受験者が本講座を受講しており、受講者の多くが合格の栄冠を手にしています。

また、インターネットを活用しデータのアーカイブに

より時と場所を選ばない講義の再履修を可能とした Web 受講サービス(視聴期間限定)も提供いたします。遠隔地に居住される方、業務のため毎回の出席が難しい方も、インターネットを介した動画配信による履修が可能です。

今回の講座は下記要領にて開講します。受講受付は5月中旬より協会 Web サイト「広報PRアカデミー セミナー/イベント」のページで開始します。

PRプランナーをめざす多くの方々の受講をお待ちします。

「広報PRアカデミー セミナー/イベント」ページ URL http://event.prsj.or.jp/

■PRプランナー認定3次試験対応コースの概要

日 程	講座テーマ	講座概要	講師	受講料	申込締切		
6月13日・ 6月19日	「合格する ニュースリ リースの作 成法」	課題に基づくニュースリリー スの作成に必要な知識、ス キルを講義と演習で学ぶ	田代 順 氏 (㈱ミラ・ソル/ 代表取締役)	Watershed 視聴 日本PR協会会員 社員 31,500 円 PRプランナー(准・ 補)取得者 42,000 円 一般 47,250 円	Watershed 視聴 日本PR協会会員	会場受講十会場受調Watershed 視聴Watersh日本PR協会会員視聴	会場受講十 Watershed 視聴 6月8日(金)
6月26日· 7月3日	「広報・PR 企画の立案 作成(マー ケティング 分野)」	マーケティング課題に基づく 広報・PR計画の企画立案に 必要な知識、スキルを講義と 演習を通じて学ぶ	赤坂幸正 氏 (㈱インテグレート/ ダイレクター)		まで Web 受講は 開講後も受 付ます。		
7月10日・ 7月17日	「広報・PR 企画の立案 作成(コー ポレート分 野)」	コーポレート課題に基づく広報・PR計画の企画立案に必要な知識、スキルを講義と演習を通じて学ぶ	許 光英 氏 (㈱電通パブリック リレーションズ/ プロジェクトマネー ジャー)	視聴のみ 会員・PRプランナ ー・一般とも 31,500 円	(終了後の講 座は、アーカ イブ視聴の みとなりま す)		

^{※「}日本PR協会会員社員」の料金は、法人正会員の会社・団体等の社員・職員、もしくは個人正会員・個人賛助会員ご本人様のみが対象となります。

第 13 回「PRプランナー資格認定検定試験」 1 次試験受験予約申込は 6 月 3 日 (月) から! 名古屋で初実施!

資格委員会

第13回PRプランナー資格認定検定試験1次試験(実施:8月25日(日))では、東京・大阪 以外での各地域での開催希望の声に応え、北海道の他に名古屋で初めて、「PRプランナー資格認 定制度/検定第1次試験」を実施します。

日本PR協会が認定する「PRプランナー資格認定制度」は、広報・PRの業務に求められる 専門的な知識やスキル、職能意識等を検定し資格として認定する、公益法人としてわが国唯一の 資格制度です。検定試験は第1次から第3次にわたり、さらに書類審査を経ることにより、広報・ PRに関する高い専門能力の保有を認定する「PRプランナー」資格を取得することができます。 本制度は2007年より発足しすでに11回の3次試験を実施、難関を突破し資格を取得した1,428 名のPRプランナーが一般企業、PR会社、政府機関や自治体等で活躍しています。

受験予約申込は、6月3日(月)からとなっておりますが、定員に達し次第締め切らせていただきますので、予めご了承くださいますようお願い申し上げます。

PRプランナー資格認定制度/第13回1次試験 実施概要

試験会場	東京会場	大阪会場	名古屋会場	札幌会場	
会場名・住所	KFC Hall&Rooms	大阪YMCA国	愛知建設会館	北海道建設会館	
	東京都墨田区横網	際文化センター	愛知県名古屋市	札幌市中央区	
	1-6-1	大阪府大阪市	中区栄 3-28-21	北4条西3丁目	
		西区土佐堀 1-5-6			
試験会場アクセ	JR両国駅より徒	地下鉄「肥後橋」	地下鉄名城線「矢	JR「札幌駅」よ	
ス	歩約5分程度	駅より、徒歩5分	場町駅」より徒歩	り徒歩約3分	
	(大江戸線両国駅		約2分		
	直結)				
試験日	2013年8月25日(日)				
募集定員	400 名	80 名	80 名*	80 名*	
受験応募・申込方	資格制度Webサイトで受験予約を行った上で申込書を郵送				
法					
受験予約期間	2013年6月3日(月)~2013年7月19日(金)				
申込書送付期間 2013年6月4日(火)~2013年7月26日(金)<必着>					

^{*}最少実施人数あり。最少実施人数に満たない場合は、受験料のご返金、もしくは東京・大阪いずれかの会場に変更となりますので、予めご了承ください。

今後の試験実施スケジュール(予定)

第13回2次試験試験日:2013年11月17日(日)

試験会場:東京・大阪・名古屋

第13回3次試験試験日:2014年1月25日(土)

試験会場:東京のみ

試験の詳細は、PRプランナー資格制度Webサイトをご参照ください。





-広報PRアカデミー2013

今年も「広報・PR基礎講座」を開講 「AP浜松町」を会場に新任担当者等の 60 余名が受講

教 育 委 員 会

協会では4月24日から26日の3日間、今年度の「広報PRアカデミー」の幕を開く「広報・PR基礎講座2013」を東京・港区の「AP浜松町」を会場として開講しました。企業やPR会社、団体に勤務する新任の広報・PR担当者など60名以上が本講座を受講、若手広報パーソンが醸し出す熱気に会場が包まれる3日間となりました。

昨年に続いて今年度も開講された「広報・PR基礎 講座」は、広報・PRに関する基本的な概念や考え方、 知識等の習得を目的とした研修講座です。講座に参加 した受講者は、パブリックリレーションズの概念をは じめとして、企業広報やマーケティング広報の基本的 な考え方、マーケティングやブランド、マスメディア やインターネットメディアなどに関する基礎的な知 識、さらにニュースリリースの作成法やメディアリレ ーションズに関するグループワーク等の11の講義を とおして広報・PRの実務に必要な知識やスキルを3 日間の講座で集中的に学んでいます。



今年の3日間の講座には、昨年の受講者数を上回る60名余が参加しました。さまざまな企業や団体から参加し、当初は初対面の人々に囲まれ緊張の面持ちを隠せなかった受講者も、グループワークにおける協働作業を通じて次第に打ち解け名刺交換を活発に行うなど、交流を深める姿が印象的でした。各講義の最後に設けられた質疑応答では積極的に挙手し質問する受講者も多く、3日間の成果を広報・PRの業務に生かそうという意欲さえも感じさせられました。

広報・PRの重要性が高まりつつある現在、本講座に参加した多数の広報・PRパーソンが、 企業や団体におけるそれぞれの持ち場で、大きく成長し活躍することが期待されます。





「PRプランナー資格認定制度」 116 名の 2012 年度後期(第 11 回)PRプランナー誕生 PRプランナーは累計 1,428 名に!

資格 委員 会

今年1月に実施された第11回PRプランナー資格検定3次試験の合格者118名のうち116名が、 3月に行われた書類審査を経て、PRプランナーの資格を取得されました。

ここに、長期間にわたるご奮闘に敬意と祝意を表してご氏名を公表させていただきますととも に、今後のさらなるご研鑽とご活躍を期待いたします。

2012 年度後期(第 11 回)PRSJ認定PRプランナー

(50 音順/敬称略)

◇個人名、所属団体・企業名で掲載了承をいただきました方

秋葉 憲幸 (森ビル(株))

安部 奈緒子 (㈱読売広告社)

礒部 有里子 (㈱博報堂プロダクツ)

伊藤 愛(シーティーシー・エスピー(株)

内田 祐二 (㈱ジャテックス)

小川 亮 (㈱インデックス)

海保 明春 (TOTO㈱)

金田 元子(電通ヤング・アンド・ルビカム㈱) 蒲 喜美子(NTTソフトウェア㈱)

菊池 賢治 (㈱マンダム)

岸本 真由美

国田 智子 (㈱電通)

小島 健 (㈱テー・オー・ダブリュー)

小林 武 (㈱山梨文化会館)

齋藤 伸明 (学校法人工学院大学)

白石港(アルパイン㈱)

炭田 寛祈(内閣官房)

瀬戸 優花子 (㈱野村総合研究所)

立石 信吾 (リコージャパン㈱)

田中 千里 (㈱オズマピーアール)

都野 織恵 (NTTデータ先端技術㈱)

長野 拓央 (㈱電通北海道)

西田 和代 (㈱ドリーム)

西山 守 (㈱電通)

濱村 一彦 (㈱浜村建設)

廣瀬 紀彦 (㈱リーチフォーザスターズ)

浅沼 英紀 (スギホールディングス㈱)

石川 弥々 (モランボン(株))

磯山江梨(Sansan㈱)

上田 純子(坂井市役所)

遠藤 祐人(学校法人札幌大学)

尾花 典子 (㈱オープンハウス)

香取 剛(㈱ACCESS)

岸本 直樹 (㈱電通)

北川 祥太 (ピーアールコンビナート(株))

小池 一洋 (㈱フジテレビジョン)

後藤 瑠美 (住友商事㈱)

小峯 寛子(日本エンタープライズ㈱)

四宮 拓真 (㈱電通)

鈴木 崇太 (㈱トライバルメディアハウス)

瀬尾 万里子

田熊 秀美 (㈱デミパブリックリレーションズ)

田中 茂樹 (大日本印刷㈱)

田仲 洋之 (㈱NTTデータ)

都甲 晋平 (㈱野村総合研究所)

生井 信一 (㈱マンダム)

西村 太一 (㈱電通)

初田 頼彦 (アルパイン(株))

坂 智一(㈱野村総合研究所)

細川 得央(ネスレ日本㈱)

松原 絵里花 (㈱電通) 箕輪 奈穂 (政策研究大学院大学) 森 昭博 (森の経営コンサルタント) 山浦 総一郎 (NHN Japan㈱) 溝手 美陽子(戸田建設㈱) 宮下 健太郎(バリューコマース㈱) 森 佑奈(㈱電通パブリックリレーションズ) 山口 剛(イオンディライト㈱)

◇個人名、所属団体・企業種別で掲載了承をいただきました方

磯田 真理子 (一般企業(広報・PR関連部署)) 稲葉 大介 (一般企業(広報・PR関連部署)) 太田 雅大 (PR関連会社) 小俣 宏(一般企業(広報・PR関連部署)) 川野辺 哲郎 (PR関連会社) 金 ボヒョン (一般企業(広報・PR関連部署)) 櫛部 優子 (一般企業(広報·PR関連部署)) 佐藤 都(教育機関) 髙島 繭 (一般企業(広報・PR関連部署)) 冨島 勲 (PR関連会社) 平川 大樹 (その他) 藤田 正樹 (一般企業(その他の部署)) 藤本 剛司 (その他) 古矢 直美 (一般企業(広報·PR関連部署)) 松田 和也 (一般企業(広報·PR関連部署)) 山口 司郎 (一般企業(広報・PR関連部署)) 山本 高嗣 (一般企業(広報・PR関連部署)) 横堀 直之 (一般企業(広報·PR関連部署)) 吉本修治(PR関連会社) 渡邊 剛史(一般企業(広報·PR関連部署))

◇所属団体・企業名で掲載了承をいただきました方

㈱ECC…女性1名㈱イマジカデジタルスケープ…女性1名㈱エージェンシーワン…男性1名NTTアドバンステクノロジ㈱…女性1名㈱セガ…女性1名㈱ゼンリン…女性1名㈱電通…男性1名㈱電通パブリックリレーションズ…男性1名、女性1名㈱東京アドエージェンシー…男性1名㈱パソナグループ…男性1名ミズノ㈱…男性1名YKK㈱…男性1名

◇所属団体・企業種別で掲載了承をいただきました方

PR関連会社…男性2名 女性3名 一般企業(広報・PR関連部署)…男性3名 女性6名 その他…男性1名

※上記PRプランナーの皆様には、事前に掲載の承諾を得ております。

会員限定

特別国際セミナー開催報告 ~日産自動車㈱グローバル本社 「グローバル・メディア・センター」訪問~

交流 委員 会

交流委員会主催の特別国際セミナーが2013年3月15日(金)、4月12日(金)両日に開催されました。日産自動車㈱グローバル本社の「グローバル・メディア・センター」を訪問し、各回約30名が参加し同社の新しい取り組みを体験しました。

「グローバル・メディア・センター」は2011年3月に新設された部門であり、社内のスタジオ (放送局)から日産の社内外で起こっている"興味深いこと"を映像化し、ソーシャルメディア などを活用して世界に発信しています。"グローバル"という名の通り同センターは世界への情報発信基地であり、センターで制作されたコンテンツが世界中を駆け巡っています。

広告側の一PRプランナーとして。

(株電通テック コミュニケーション・ビジネス開発室 プランニングディレクター 長竹 直哉

㈱井之上パブリックリレーションズの尾上玲円奈さんからのご紹介で、当リレーエッセイを引き継ぎました、㈱電通テックの長竹直哉と申します。私の場合、広報・PRはコア業務ではなく、特殊な事情もあるのですが、自己紹介を兼ねつつPRプランナー資格の取得に至った経緯を述べたいと思います。

まず大学卒業後にマーケティングリサーチ会社へ就職し、しばらくブランドアセスメントなどに従事していましたが、徐々にブランドイメージを抽出する側ではなく、むしろ新たなイメージを構築する側への関心が高くなり、コピーライターに転身しました。

その後、ストラテジークリエーティブを担う形で映画の宣伝プロモーションに携わるようになるのですが、コミュニケーションの設計上、必然的にPRにも関わることになります。そこへ首尾よく資格認定制度が開始されたため、取得を決意したという次第です。マーケティングやブランディングの基本的な知識はありましたし、パブリックリレーションズの一手段に過ぎませんが、パブリシティについての多少の心得もありましたので、これを機に体系的に学んでスキルを可視化したいと考えたのが直接の動機で、2008年に取得しました。

資格の取得を通じて得られたことは大きく二つあります。一つは学んでいく過程で改めてパブリックリレーションズの重要性や可能性を認識できたこと、もう一つは交流会を通じて意識の高い多くの広報・PRパーソンと出会えたことで、彼らとは今も公私にわたってお付き合いさせていただいています。

言うまでもなく資格の取得はスタートに過ぎず、大切なことはそこで得た知見やネットワークをいかに発展させていくかですが、その点、定例の交流会やレベルに応じてさまざまなセミナーが用意されているため、人脈やスキル形成の面でも大いに役立っています。

以上が今日に至るまでの大まかな経過ですが、ここから先は、広告側の業界にいる一人のPR プランナーとして、エトランゼ的に思うことを。

周知のとおり広告業界も変革のさなかにあり、その領域はもはや媒体枠のセールスや広告・イベント制作に留まらず、クライアント企業のあらゆる経営課題、事業課題の解決を見据えるようになってきています。そのような環境変化のもと、PR業界の役割がますます重要性を増していくことは間違いないでしょう。言い方を変えれば、広告側には持ち得ないアドバンテージを有したソリューションやコンサルティングノウハウ(例えば政策リサーチやレピュテーションマネジメントなど)を提示する好機であり、それが一層のステータス向上へとつながっていくのだと思います。

企業や社会の課題解決のために最善の策を提供するという点においては、業界の垣根などは意味を成さなくなっていくのでしょうが、一方で「パブリックリレーションズ」というものが、真の意味で認知、理解されるようになれば、この国のあり方も変わると思います。協会の皆さまには引き続き業界の発展に取り組んでいただきたいですし、私も立場は多少違っても、PRSJ認定PRプランナーとして、パブリックリレーションズの本質を伝える伝道師の役目を全うしていきたいと考えています。

3 回目となる次回はビルコム㈱の若きコミュニケーションコンサルタント、中堀那由太さんにバトンを渡します。どうぞお楽しみに。



会員限定

第146回定例研究会

「ワンテーマ主義」で女性の知的興味を刺激する『FRaU』の編集方針

~女性向けライフスタイル誌を対象とした広報・PR 活動の秘訣を探る~

講師:株式会社講談社『FRaU(フラウ)』編集長 関 龍彦氏

第146回定例研究会(3月度)は3月19日(火)、六本木アカデミーヒルズ49で開催しました。 講師は㈱講談社「FRaU」編集長 関 龍彦氏。テーマは「ワンテーマ主義」で女性の知的興味 を刺激する「FRaU」の編集方針 一女性向けライフスタイル誌を対象とした広報・PR活動の 秘訣を探る一」。有料参加者は54名でした。





くコラム 関西の風>

スパイスの効いたサービスを

今年3月に大阪・北区の堂島エリアに関西支社を開設しました。偶然にも日本PR協会 関西支部と同じ「桜橋千代田ビル」に入居しています。

同じ一つ屋根の下、関西圏の広報・PR業界を微力ながらサポートさせていただければと思います。

大阪といえば「食い倒れ」で知られていますが、先日、東京から転勤してきたスタッフと「やけにカレー屋さんが目につくよね」という話になりました。大阪の定番は粉モンと聞いており、「お好み焼き」と「たこ焼き屋」ばかりだと思っていたから、気になるだけでしょうか?

お客様に聞いてみたところ、みなさん口々に「そう?そういえばそうかなぁ?」と特別意識されてない様子。「みんな"いらち"だから、頼んだらパッと出てきてパッと食べたい。だからカレー屋が多いのかも」と分析する方も。なるほど……。

中でも気になったのは、ランチ時に客が列をなしていた「インディアンカレー」というお店です。カウンターだけの店内で、黙々とカレーやカレーパスタを平らげる人々の様子がガラス越しに伺えます。

こちらのカレー、何しろ辛い! 辛さは選べません。卵黄をトッピングして辛さを和らげるしかないのですが、これが"クセになる辛さ"なのです。とにかく刺激タップリ。店内に響くカリカリとご飯を手繰り寄せる音をBGMに、タイミングよく店員さんが注いでくれるお水をゴクゴク流しこみながら、汗を拭き拭き完食!

ランチに食べれば「よし!午後もがんばっちゃうぞ!」とエネルギー充電! 行列になるのも納得です。

東京にも丸の内に1店舗あるようなので、東京の方も是非お試しください。

弊社の主業務は、テレビをはじめとするメディアのモニタークリッピングになりますが、必要な時はパッと頼んで、ピリリとスパイスの効いたサービスをご提供できる、カレー屋さんのような存在を目指し頑張りますので、関西圏の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。



■ 会員便り

当協会法人正会員のワイワイカンパニ一㈱ 代表取締役 山田百合子氏から "子供たちの未来を応援する"「NPO法人 夢のかけ橋プロジェクト」のご案 内をいただきましたので、皆様にご紹介いたします。

こんにちは。

日頃は、PR協会で皆様とご一緒させて頂いているワイワイカンパニー㈱の山田百合子です。 今日は、"子供たちの未来を応援する"「NPO法人 夢のかけ橋プロジェクト」代表理事として ご案内させて頂きます。

実は、私は2000年に風邪から脊髄炎にかかってしまい、今は車椅子です。モータースポーツの映像プロデューサーとして、生前交流があったF1レーサー、アイルトン・セナが残した「生まれてくるすべての子供にチャンスはある。」というメッセージに共感し、さまざまな問題を抱えている子供たちを応援するために2004年、静かなムーブメントを起こすべく立ち上げたボランティアイベントが、今回ご案内する"子供たちの未来を応援する"「NPO法人夢のかけ橋プロジェクト」です。

このイベントは、夏の体験ツアーなどの活動を始めて今年で10年を迎えます。

そこで、10周年を記念して、特別ゲストとして、JALをわずか2年で再生させた稲盛和夫氏をお迎えし、2013年8月8日(木)、東京・虎ノ門の日本消防会館(ニッショーホール)にて、設立10周年記念イベント「NPO法人夢のかけ橋プロジェクト2013」を開催する事となりました。



2005年の読書感想文コンクールで受賞した子供たちと稲盛和夫氏

まの思いは をす実現する

本で表現する

大生に迷ったとき

ぜひこの本を読んでください

京セラ、KDDIをつくりあげた相談和夫が
青少年に心をこめて送る書き下ろし

今年8月のイベントに先駆け、"人生に迷ったときぜ ひ読んで欲しい"と青少年のために書き下ろした稲盛和 夫氏の自叙伝「君の思いは必ず実現する」の読書感想 文・第2弾を2005年に続き、募集しております。

対象は、8歳以上~20歳未満の青少年で、審査の基準は文章のうまさよりも、「夢を追いかける熱い思い」や「チャレンジする強い気持ち」を重視しています。

一人でも多くの青少年に本を読んでもらい、何かを感じてもらえれば嬉しく存じます。

優秀賞および特別賞の受賞者たちには、電子書籍リーダーとギフト券、稲盛和夫氏から直接コメントがいただけます。優秀賞・特別賞の受賞者は東京へご招待します!

【対象図書】 「君の思いは必ず実現する」著者:稲盛和夫

【応募資格】 8歳以上~20歳未満

【応募方法】 原稿用紙を郵送またはEメールより応募のこと (600 字~1200 字以内)

【応募期間】 2013年3月20日(水)~2013年5月31日(金)消印有効

★イベント参加の意思を記載して下さった方は当日優先的にご参加頂けます。

★応募方法、参加方法(5月10日より)の詳細は以下のホームページをご覧下さい。

http://www.yumenokakehashi.net/event/2013/02/20130213-2.html

稲盛氏のあゆみをマンガ化した『必ず夢は実現する〜稲盛和夫ものがたり〜』が、「夢のかけ橋プロジェクト」のホームページから読むことができます。まずはマンガを読んで読書感想文を書いていただいてもかまいません。ぜひ顔の広い皆様のご家族・ご親戚や知人の方にも周知いただけると幸いです。

子供たちの夢を応援すること = 私たち、大人も夢を見る…… このイベントにご協力頂いている全ての皆様に、愛と感謝を込めて……

「NPO法人 夢のかけ橋プロジェクト」のオフィシャル Facebook ページ始めました!

https://www.facebook.com/yumenokakehashi.net

ぜひ、「いいね!」して下さい。

「NPO法人 夢のかけ橋プロジェクト」 企画・プロデューサー 代表理事 山田百合子 当協会個人正会員Bの山見インテグレーター(株) 山見 博康氏が 「企業不祥事・危機対応広報完全マニュアル」を 4 月 20 日に発刊 佐々 淳行氏が"極限状態の担当者を導く企業防衛の羅針盤"と推奨!

個人正会員Bである山見インテグレーター㈱ 代表取締役 山見 博康氏が4月20日に15冊目 となる危機対応に関する初めての著作「企業不 祥事・危機対応広報完全マニュアル」を発刊し ました。

本書は、著者が長年大小企業で実践し蓄積した知識・ノウハウを総合的に熟成したエキスを網羅した実践書です。初心者でもプロセスとして理解できるわかりやすい指南書です。

特徴として次の3点があります。

- 1. 人間のあり方から会社のあり方を考え、 危機対応の本質を学べる
- 2. "危機"への備えから一連のなすべき ことをプロセスとして理解できる
- 3. 企業のみならず、官公庁・自治体、業種 分野の組織を問わず応用しマニュアル 作成に役立つ

また、本書は危機解決に携わる人たちにとって、次の4つの内どれかに活用できるものです。

- 1. 本書を読めば、初心者にも危機に以下に対応するかがわかる
- 2. 本書を使えば、経験者にもこれまでの知見をチェックし、深化できる
- 3. 本書を活かせば、これまでのマニュアルを改善しより実践的に充実できる
- 4. 本書を辿れば、危機に遭遇しても初心者でも一通りの対応ができ、経験者は知見を補強できる

以上の通り、辞書として座右に置く実践指南書です。

広報関係役員及び担当部署、危機対応体制未構築の組織の担当役員やその部署、大企業・中堅中小企業役員及び危機対応関係者及び一般ビジネス人の常識・素養としてぜひお読みいただきたい1冊です。

また、各々のページ下部に記載されている名言箴言を味わうことによって、そのページの趣旨をより深く理解することができるでしょう。

<書籍データ>

『企業不祥事・危機対応広報完全マニュアル』(並製、A5判、720ページ)

 著者
 :山見博康

 出版社
 :自由国民社

発行年月:2013年4月20日

価格:3,500円(税別)

※この件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

山見インテグレーター㈱ 山見 博康



PRSJ in Media

● 4月1日(月) 『月刊広報会議』5月号

㈱宣伝会議の『月刊広報会議』5月号に当協会からの投稿が掲載されました。第1回となる5月号では、「デジタル化時代のインターナル広報」とのテーマのもとに、2月に開催された「広報ゼミ」で論議されたインターナル広報に関する2つの課題について要旨が掲載されています。今後は毎号にわたって、当協会の投稿記事が異なるテーマのもとに連載される予定です。

● 4月1日(月) 『社会教育』4月号

(財)日本青年館が発行する『社会教育』に、『行政・公共団体における「PRプランナー資格認定制度」活用の意義』と題する記事が掲載されました。PRプランナー資格制度の概要を紹介するとともに、専門人材の育ちにくい行政等における広報活動の強化のために、教育研修にPRプランナー資格制度を採り入れ活用する意義について3ページにわたり解説しています。執筆は、事務局の真部が担当しました。

編集担当より 会員のみなさんの情報をお寄せください!!

本誌では会員の動向・消息や、会員から会員へのお知らせなどを積極的に掲載いたします。 ビジネスに直結する情報に限らず、会員交流に関するものでも結構ですので是非ご一報ください。

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。 中身の濃い会員誌に育てていきたいと思いますので、 よろしくお願い致します。

広報委員会

EX- μ mail@prsj.or.jp FAX 03-5413-2147

※ 禁転載